

〔月夜実グレープフルーツ〕

純国産のグレープフルーツ、宮崎県日南市「月夜実つくよみ」の飴

農耕の神様ツクヨミノミコトにあやかった「月夜実」

純国産のグレープフルーツがあることをご存じですか？
暖かな陽光の降り注ぐ宮崎県日南市は、柑橘類の宝庫。
なだらかな丘陵地に、黄金色の実がたわなに実ります。
その名は「月夜実」、つくよみと読みます。
神話のふるさと宮崎ならではの、農耕の神様ツクヨミノミコトにあやかり「月夜実」と名付けられました。

生産者さんは「緑の里りょうくん」の代表、田中良一さん。100年以上続く、由緒正しい柑橘農家4代目です。
かつて日南市周辺は温州みかんの一大産地として栄え、〈柑橘王国みやぎ〉と呼ばれるほど、数多くの品種が栽培されていました。しかし、過疎化や後継者不足などを理由に地域が衰退。
次の一手を模索中、飽和する柑橘市場に新しい風を吹かせたい、そんな熱い想いから、国内ではまだ珍しかったグレープフルーツに白羽の矢が当たり、地域の皆さんと「産地づくり」に取り組み始め、2010年よりグレープフルーツの生産を開始したことで「月夜実」が生まれました。

当時、グレープフルーツと言えば、国内流通の99%以上が南アメリカやアメリカからの輸入品。
専門家や先輩生産者さんからは、「国内ではグレープフルーツの花は咲かないだろう」と言われていました。
しかし、グレープフルーツへの情熱はそんな事では冷めず、好奇心旺盛な田中さんは、「何か方法は無いものか」と試行錯誤を繰り返し、栽培方法の研究を重ねていきました。



榮太樓飴 月夜実グレープフルーツ

マルチ栽培

マルチ栽培とは、野菜の栽培をしている畑で目にすることが多い土に黒いビニールを敷き詰める方法です。

田中さんをはじめとする生産者さんは、長年温州みかんなどの柑橘類を育ててきたプロの農家。
みかんの味を向上させるため、このマルチ栽培という手法を取り入れていました。水を抑えることで濃縮効果が生まれ糖度が上がり味の輪郭がハッキリとしてきます。この考え方を応用し、農園内にある木の根元にマルチシートを敷き、樹体に適度な乾燥ストレスを与えることで、必要最小限の水で栽培をします。これらの施策で安定的に高品質な果実を生産することが可能となりました。あわせて、地球温暖化の影響もあって、グレープフルーツの花を咲かせることができるようになったのです。

樹上熟成

外国産のグレープフルーツは船便で時間をかけて日本にやってきます。その後、保管され出荷となるので、収穫してから時間が経過してしまいます。すると、グレープフルーツの水分が徐々に飛んでしまうため、果汁が減ってしまいます。
しかし、月夜実ギリギリまで樹上で完熟させたものを、短い輸送時間で出荷します。
収穫したグレープフルーツは「超熟」と言っているほど。手に取ると、輸入グレープフルーツと比べてひとまわりも、ふたまわりも大きく、ずっしりと1個が重く、期待に胸が高鳴ります。
早速、月夜実を半分にカットすると、驚くほどの果汁が溢れ出てきて、グレープフルーツの香りが思いっきり拡がります。さらに果実を絞ると、ものすごい量の果汁が搾汁できました。
程よい甘みと、程よい酸味のバランス感、当たり前ですが、天然のグレープフルーツジュースそのもの。
これまで経験したことのない味わいに驚愕です。グレープフルーツの概念がガラリと変わりました。



©2020 RYOKUN Inc.

ミツバチが教えてくれる「安心安全」

日南の太陽を燦燦と浴びて育つ月夜実。
収穫前になると、1本の枝にたくさんの実をたわなに付けている様は、まるでぶどうの房のようです。
このようにグレープのように見えるフルーツ、という事でグレープフルーツと名付けられました。
SDGs（持続可能）な農業を目指すため、できるだけ農業を減らした栽培や、一つひとつの手で収穫・選別などを行った出荷を心がけているそうです。スーパーマーケットなどで販売されている輸入果実は、長い船旅を経てもカビが生えません。これは食品添加物として防カビ剤が使われるのです。代表的なものに、OPP（オルトフェニルフェノール）や、TBZ（チアベンダゾール）などがあります。

ところが、田中さんの月夜実には使われていません。その理由は、単純に産地から食卓までの時間が短いので必要がないからです。4～5月に白くて可憐なグレープフルーツの花が咲きます。花言葉は、“乙女の無邪気”。ミツバチたちが元気に嬉しそうに花の周りを飛び回る景色はとっても魅力的です。
従来、農産品は「見た目が美しい商品」が良いものとされてきました。そのため害虫などで傷が付いたり、病気になるような様々な農業を使用するなど、たっぷりと手間暇をかけて「見た目の美しさ」を追求してきました。
しかし、本当にそれに意味があるのでしょうか？
月夜実についている傷は、実は花の時期にミツバチが歩いた足あとなのです。

純粹に蜜が濃く、甘く濃厚な強い香りを放つ花を好んで飛び回るミツバチの足跡は、美味しさと安全の証。過剰な農業などが無いから、ミツバチが寄ってくるのではないのでしょうか。



榮太樓飴 月夜実グレープフルーツ

大事に、丁寧に、ひとつ、ひとつ

果実ひとつひとつを目で見て、手作業で選別します。また、雨などの水滴は、そこから果実を傷めるので、大事に、丁寧に手作業で拭きあげます。
まるで我が子を送り出すかの様に愛情が溢れた出荷作業です。
とても温かい気持ちになりました。
今後、宮崎県日南市は確実に純国産グレープフルーツの産地になっていくのだらうと確信しました。



©2020 RYOKUN Inc.